

1 題材の目標及び題材構想

「マスクをつくろう」（3時間完了）

(1) 題材の目標

- | | |
|--|----------------|
| ① 布を用いたものを製作するために、身に付けた基本的な技術を実践することができる。 | 【知識及び技能】 |
| ② 布を用いたものの製作を通して、生活を豊かにするために改善をしたり課題を解決したりする力を身に付けることができる。 | 【思考力，判断力，表現力等】 |
| ③ 布を用いたものの製作に関心をもち，意欲的に授業に取り組むことができる。 | 【学びに向かう力，人間性】 |

(2) 評価規準

知識・技能 …【知】	布を用いたものを製作するために身に付けた基本的な技術を実践している。
思考・判断・表現 …【思】	布を用いたものの製作を通して，生活を豊かにするために改善したり課題を解決したりする力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度 …【態】	布を用いたものの製作に関心をもち，意欲的に授業に取り組もうとしている。

(3) 題材構想

時 数	学 年	学習過程とねらい	学習活動	教師の支援・留意点 ☆評価規準
3 時 間 8 (本時) 9 10	応 用 (2 年 生)	<p>3 生活を豊かにするための工夫をしよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>生徒の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立体マスクの方が顔にフィットするから、布を曲線で裁断しよう。 ・飛沫を防ぎながら通気性も良くしたいから、二重構造にして布を2種類使おう。 ・伸縮性のあるポリウレタン素材の布は軽くて洗濯にも強いね。 ・内側のガーゼを取り換えられるようにしたら、清潔なマスクを繰り返し使えるね。 ・マスク不足の時に、使い捨てマスクの針金やゴムを再利用したよ。 ・好きなアーティストのマークを入れて、コンサートのときに付けたいな。 </div>	<p>○ 確かめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の衣生活を振り返り、快適な衣生活を送るために、改善することや必要なものを確認する。 ・新型コロナウイルス感染症の流行で、当初はマスクが不足していたこと、現在はマスクの機能やデザインなどが充実していることに気付く。 <p>・知識と技術を生かし、工夫することで生活を豊かにすることができることを知る。</p> <p>○ 創造する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクを作るには布をどのように裁断し、縫製したらよいかデザインを描いたり、紙を用いて形作ったりして創造する。 ・マスクの効果をより高める形や構造を工夫する。 ・布を用いてマスクを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で布を用いたものがたくさんあることに気付くよう促す。 ・マスクが不足したときに、どのように対策したか意見を聞き、共有することで授業を深める。 <p>☆自分の衣生活を振り返り、快適な衣生活を送るためにできることを考えようとすることができたか。</p> <p style="text-align: center;">(発表の内容)【態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎で学習した繊維の種類や布の作りについて確認するよう助言する。 ・基礎で学習した洋服と和服の構成を確認しながら、効果をより高める形や構造を考えるよう助言する。 <p>☆素材や構造を工夫して、効果的なマスクを作ることができたか。(作品)</p> <p style="text-align: right;">【知】【思】</p>

(4) 参考

時数	学年	学習過程とねらい	学習活動	教師の支援・留意点 ☆評価規準
2 時間 1 2	基礎 (1年生)	1 衣服の働きと選び方について 考えよう ○社会生活上の働き ○洋服と和服の構成と特徴 ○衣生活のT. P. O.	○ 気付く ・目的に応じて衣服を着用することの大切さに気付く。 ・T. P. O. を踏まえながら、個性を生かした着方を考える。 ・既製の適切な選び方を知り、必要な衣服を新しく購入するときの選び方についてまとめる。	・小学校で学習した「衣服の保健衛生上や生活活動上の働き」を踏まえる。 ・洋服と和服を用意し実際に見たり触ったりすることで、それぞれの構成や特徴に気付くようにする。 ☆社会生活上の働きと関連させながら、個性を生かした衣服の選び方ができる。 (発表の内容) 【思】【態】
5 時間 3 4 5 6 7		2 衣服の計画的な活用方法とエコバック作り ○繊維の種類 ○布のつくり ○洗濯機を用いた洗濯 ○アイロンかけ ○ほころび直し ○スナップ付け ○ミシン縫い	○ 考える ・手持ちの衣服を確認し、その活用方法や、必要な衣服の入手方法について、新しく購入する方法以外の方法を話し合う。 ・繊維の性質に応じた手入れの方法を考える。 ・エコバック作りで衣服の手入れに必要な基礎技能を身につける。	・体操服や制服の表示を調べることで、既製品の表示の見方、服の素材に関心をもてるようにする。 ・家庭と連携を取りながら実習を進める。 ☆繊維の種類と布の作りについて理解できたか。 (ワークシート) 【知】

<p>5 時 間</p> <p>11</p> <p>12</p> <p>13</p> <p>14</p> <p>15</p>	<p>発 展 (3 年 生)</p>	<p>4 よりよい衣生活を目指して</p> <p>○3R (Reduce, Reuse, Recycle)</p> <p>○循環型社会</p> <p>○持続可能な社会</p> <p>○家族・地域社会</p> <p>フェアトレード</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>生徒作品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコバック ・リュックサック ・巾着袋 ・ブックカバー ・ティッシュケース ・ランチョンマット ・ペットボトルホルダー ・赤ちゃん用スタイ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が流行した当初は、感染リスクの高い高齢者がマスクを購入できなかったり、幼児用のマスクが手に入らなかったりした事実を知る。 ・消費生活で学習したフェアトレードや、消費者の5つの責任について振り返る。 <p><参考>消費者の5つの責任</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 批判的意識を持つ責任 ② 社会的弱者への配慮責任 ③ 主張し行動する責任 ④ 環境への配慮責任 ⑤ 連帯する責任 <ul style="list-style-type: none"> ・材料が手に入らなかったり、資源や環境を大切にしたりするために、どのような衣生活を送ればよいかを考える。 ・古着を利用して必要なものを作る。 ・技術分野で学んだプログラムによる計測・制御が使用されていることにも触れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事を見せたり、ニュースの内容を伝えたりする。 ・消費生活や環境問題と関連させながら話をする。 ・マスク作りで古着を再利用したり、使い捨てマスクの一部を利用したりした生徒の作品を紹介し、3Rを考えるきっかけを与える。 ・コンピュータミシンを紹介し、新しい機能や技術を知ること、ものづくりへの興味・関心を高めさせたい。 <p>☆自分の衣生活を振り返り、古着を使って生活に必要なものを作ることができたか。(作品)</p> <p style="text-align: center;">【思】【知】【態】</p>
--	---	--	--	--